

令和2年度

学校評価報告書

1 令和2年度 学校教育目標および重点目標・教育課題

学校教育目標	教育課題
心と体を ひらいて学ぶ 美麻の子	○教育理念：「個の生き方や考え方を尊重する学校づくり」 ○教育課題：「協働の学びの質を高める」 個の生き方や考え方を尊重する学校づくりにより、児童生徒が心と体をひらいて学ぶ授業を通して、生涯学び続けるための基礎力を養い、自律した学習者を育てます。
	重点1 学びづくり 「聴く・問う」から始まる対話活動を基盤とし、「単元の核心」「単元のプロセス」を明確にした授業づくりを目指します。
	重点2 体づくり 元気アップ運動を継続し、持続可能な体力向上と健康生活の習慣化を目指します。
	重点3 集団づくり 自治活動や歌声づくりを基盤として、信頼し合う人間関係の構築を目指します。

2 本年度の「成果と課題」および令和3年度に向けての「向上策・改善策」

重点	成果と課題	向上策・改善策
学びづくり	○児童生徒の「対話を通して学びたい」という熱い思いを授業や特別活動等から感じ取れた。子どもの思いを「聴き」ながら、魅力的な学習問題をもとに、子どもと共に学ぶ教師を目指して実践を積み重ねた。 ●対話の質や振り返りの方法については、子どもが自らの学びを振り返り、自ら課題をもって学ぶ姿になるために、OPPシート等にかかせる内容や教師のコメントなどに研究の余地がある。	・「魅力ある学習問題」や「今日のゴール」「単元の核心」について、実践を通して教師の意識をそろえ、児童生徒にとってより学びやすい環境をつくっていく。 ・ICT教育の研究を進める。 ・児童生徒の「聴く力」「問う力」がより伸びていくような授業づくりを模索していき、対話の質が高まる授業づくりを行う。
体づくり	○新型コロナウイルスによる休業明けで体力が低下傾向にあった児童生徒が、春と秋のスポーツテストの結果を比較してみると、元気アップ運動の継続によって巧緻性の向上やスピードの維持が見られた。 ●学年が上がるにつれ、運動や活動に対する意識や目的が薄れる児童生徒もいるので、それに対する対応を考えていく。	・健康、体力向上の意識をもって取り組めるよう、元気アップでのなかよし班活動や家庭での運動実践の推進などを継続していく。 ・より自分事として考えられる活動を入れていくことで、意識や目的を維持できるようにしていく。見学者が他をサポートする体制を整えることで、新たな目的を生み出し、見学者が減るように工夫する。
集団づくり	○様々な活動でリーダーやフォロワーの経験を積み重ねながら、集団を主体的に創ろうとする姿が見られる。なかよし班やミニミニグループなどで、リーダーを支えるフォロワーの姿もたくさん見ることができた。 ●歌声づくりでは、個のアイディアが尊重される雰囲気が学校全体にあり、どんな環境でも曲を創り上げようという意欲が感じられた。今後は全体でどんな音楽を目指していくかという方向性もち、それを追究できるような活動にしていく。	・集団づくりは今までの方向性を維持しつつ、ミニミニグループの活動をさらに進めていきたい。また、学年によって人数構成も大きく変化するので、学年内の横のつながりを深めるための活動にも力を入れていきたい。 ・歌声づくりでは、目指す方向を児童生徒と職員集団とが共有し、対話の中身が音楽的に高められるものにしていきたい。

3 学校長による自己評価・総合評価 (別紙参照)

4 学校運営協議会長による学校の「重点目標」への取り組みに対する評価 (学校関係者評価：別紙参照)